

## 第90回全国安全週間

安全って何だろう

今年で九十回目を迎える全国安全週間の準備期間がスタートしました。労働災害はピークの昭和三六年には死傷者四十九万一千人余り、そのうち死亡者は六、七一二人もありました。

それが平成二八年には死傷者十一万七千人余りで、うちは死亡者は九二八人と大幅に減少しました。しかし、年間十一万人を超える死傷者は決して少ない数ではありません。「安全第一」という考え方に異を唱える人はいないでしょう。しかし、常識になりすぎて、行事をこなすことが目的になってはいませんか。会社も社員も「やらせた感」「やらされ感」で行事をこなさし、「最近事故もないから」と根拠もなく満足していませんか。「安全の本当の意味を考えなおす期間としたいものですよ」。

## 舗装補修

傷みのひどかった事務所からプラントまでの道路の舗装補修工事を実施しました。ローラーはもちろんフィニッシャーまで持ち込んで本格的な工事となりました。素人工事と違う手際の良さと出来ばえに感服しました。これでプラントまでスイスイです。



本格的なプロの仕事



大きな穴があいてしまった!!!

## 新社員紹介

5月から小野凌平さん(25歳)が入社しました。元気に現場で原石運搬作業に従事しています。前職から未知の業種への転職となりましたが、あせらず、あわてず着実な成長を期待しています。



～可能性～

砕石業にとって、土は商品にならない邪魔者である。しかし、地表は岩盤が露出している所は少なく、大体が土で覆われ、ご丁寧に植物が生い茂っている。



掘っても掘っても岩石が現れない時砕石屋は、心の中でため息をつき、頭を抱えるのだ。だがしかし、「土木材料」というではないか。使用基準を満たし、安定し管理された状態が維持できれば、土も立派な材料となりえるのではないか。そんなことを考え、石混ざり土砂を破碎し、盛土材として使用可能か試験を実施した。結果は密度、支持力とも良好であった。商品価値は未知であるが、ため息の解消にはなるのである。

## 5月点描

～なごむ～



八戸のドライバーさんが、毎朝柴犬を乗せてやってくる。事務所で伝票発行する間、ワン、キャンとひとしきり愛嬌を振りまいて一仕事。なごむ時間である

～そうかい～

事務所のトイレにウォシュレットがついた。快感、爽快。文化的生活へ前進である



～したたか～



桜の季節が終わると爆発的に草花が芽吹く。最低限の環境で生き抜くタンポポに脱帽である。

## 編集後記

暑くなってきましたね。お陰様で福田運送のダンブも休まることなく走らせて頂いています。近郊の運送屋さんと同じく動いています。どうぞ前日にご注文程宜しくお願い致します。



いくつかの顔シリーズ①

私にはいくつかの顔がございまして、今回はその一つの顔「NPO法人カシオペア市民情報ネットワーク」について紹介させていただきます。この組織は平成16年に二戸市を中心とした「カシオペア連邦」地域でコミュニティーFM放送局を運営すべく、東北では初のNPO法人でのコミュニティーFM放送局の開局をめざし設立されました。

翌17年12月に「カシオペアFM」として放送を始め、今年で12年経過しました。二戸地域は山が多く電波が通りにくい地形で、微弱な電波しか出力できないコミュニティーFMは条件が厳しく運営については非常に苦労しましたが、平成23年正月の豪雪災害、そして3.11の災害を通じてラジオが災害時に大きな力を発揮し見直され、その後は行政からの支援も受けやすくなり、なんとか放送を継続しております。現在社員4名、ボランティアスタッフ数名にて、月曜から金曜は毎日朝昼晩と生放送にて地域の情報を伝えております。

私も「カシオペアフレンズ」(土曜12時、再放送日曜11時)という番組をやってまして、これももう開局時から12年続けてきております。機会がありましたら聞いていただければ幸いです。二戸以外の方はネットでも聞けます。詳しくは、カシオペアFMのホームページをご覧くださいませ(´\_`)/カシオペアFM周波数77.9MHz



・ ・ 砕石場へ研修 ・ ・

『砕石出荷の流れを見でこ』と社長の命を受け、5月後半の2週間砕石事務所で研修させて頂きました。窓口業務でお客様とのやり取りを通じてどうしたらお客様に満足していただだけ、効率の良い配車ができるか感じることができました。また、砕石製造の流れを知り、色々な工程で時間と経費が掛かっていることがわかりました。今回の研修を、荷主とお客様をつなぐパイプ役として安全で円滑な運行ができるよう役立てていきたいと思っています。